

令和2年度

第1号

荻窪中学校学校便り

令和2年4月30日発行

令和二年度の初めにあたり

校長 小澤雅人

令和2年度がスタートしました。しかしながら、新型コロナウィルス感染拡大防止対策として入学式の延期を行い、緊急事態宣言により5月のゴールデンウィーク明けまで臨時休校となりました。本来であれば、新一年生を70名迎え、新たなスタートを切る予定でしたが、1ヶ月ほど待たなくてはならず寂しい限りです。

子供たち一人一人は新しい学年の出発に際して、夢と希望と、そして新たな決意とで充実していることと思います。また、保護者の皆様も、この1年間のお子様の成長に大きな期待を寄せていることと思います。緊急事態宣言が延長される可能性があり、ご家庭内での生活が続くことも予想されますが、学校として教職員一同サポートしていきたいと思います。なにとぞよろしくお願ひいたします。

私は、今年4月から歴史と伝統のある杉並区立荻窪中学校に校長として赴任いたしました。新たに迎えた池田和幸副校長共々よろしくお願ひいたします。これから1年間、全教職員で保護者と地域の皆様の信頼と期待に応える学校づくりに努めてまいります。

本校の教育目標は『自立力・社会力』です。より良い社会を主体的に創造するため、また自ら人や社会に積極的に関わるため「社会に貢献できる心身ともに健全な人間」の育成を目指しています。このためのキーワードとなるものは【人に優しく・自分に厳しく】と考えます。これからのグローバルな国際社会を迎えるにあたり、これまで以上に人々のかかわりを重要視していくことが求められています。このためにも、何処でも、誰に対しても自他共に尊重し合える関係づくりと、自他共に高め律する社会の創造が大切となり、生徒一人一人が「知・徳・体」のバランスのとれた人として成長していく教育が不可欠となります。

子供たちそれぞれに、一人一人の違いがあり、その子ならではの「よさ」をもっています。そして、一人一人がかけがえのない存在です。そのことを、子供たちを取り巻く多くの人たちが、認め、励ますことで子供たちの中の、自己有用感が満たされていきます。ここに、子供たちの可能性の花が開いていきます。本校の子供たち総てが、自らの可能性を花開かせるために、保護者・地域の皆様方のご理解とご協力をいただきながら、教職員一同、全力で取り組んでまいります。どうか、よろしくお願ひいたします。

そこで、保護者・地域の皆様に、いくつかお願ひをいたします。本校では、日常的な挨拶の励行を指導しております。どうか、ご家庭や街中におかれて、「おはよう」、「こんにちは」、「ありがとう」等の挨拶を子供たちにお願いいたします。また、「早寝・早起き・朝ごはん」です。子供たちの、自己実現と自己決定力を高め、健全育成を推し進めていくために、毎日の基本的生活習慣の確立が第一です。どうか、ご理解とご協力をお願ひいたします。さらには、ICT機器の進展やAI社会の到来も迎えています。人は言葉を持ち言葉を介した関係を作り出した存在です。だからこそ、家族での関りや地域の一員としての関りにおける言葉の重要性を意識した日常が創られていくことを望みます。

新型コロナウィルス感染拡大による影響がまだ予断を許さない中、新年度早々より、保護者の皆様、地域の皆様には大きなご心配をいたしております。先ずはご健康に留意されることとともに、これまで同様に、本校教育活動へのご理解ご協力を、あらためてお願ひいたします。